

平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	2,528	△15.4	103	△73.2	104	△72.9	48	△77.2
24年6月期第2四半期	2,988	6.7	387	6.6	386	6.6	211	△0.3

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 48百万円 (△74.7%) 24年6月期第2四半期 192百万円 (△17.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	2.76	—
24年6月期第2四半期	12.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年6月期第2四半期	8,308	5,155	62.1	295.02
24年6月期	8,270	5,159	62.4	295.22

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 5,155百万円 24年6月期 5,159百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年6月期	—	0.00	—	—	—
25年6月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,950	△14.5	145	△76.6	150	△76.0	100	△70.7	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年6月期2Q	17,631,600 株	24年6月期	17,631,600 株
② 期末自己株式数	25年6月期2Q	154,937 株	24年6月期	154,833 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年6月期2Q	17,476,707 株	24年6月期2Q	17,477,465 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要等を背景として一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州財政危機等世界経済の減速、中国との関係悪化による輸出の減少、電力供給の制約等の懸念材料があり、総じてデフレから脱却できないまま、弱含みの状況が続きました。

このような経済状況の下で、当社グループは、受注確保に努めましたが、主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械関連業界等全般に受注が減少したため、売上は前年同四半期と比較して減収となりました。また、電力料金の値上げや減価償却費の増加等コストが上昇したことから、人件費、修繕費等の削減に努めましたが、前年同四半期と比較して減益となりました。

こうした事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,528百万円（前年同四半期比15.4%減）、営業利益は103百万円（前年同四半期比73.2%減）、経常利益は104百万円（前年同四半期比72.9%減）、四半期純利益は48百万円（前年同四半期比77.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、エコカー補助金による政策効果の一巡に加え、平成24年10月以降尖閣諸島問題により中国との関係が急速に悪化し輸出が大幅に減少した影響等から、自動車、建設機械、産業工作機械等も生産調整され当社受注も低迷しました。

また、電力料金の値上げ、減価償却費の増加等のコストが上昇する一方で、円高の進行や世界経済の減速から価格競争の激化により利益幅が縮小することとなり前年同四半期比減収減益となりました。

また、風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、再生可能エネルギー導入の機運は高まっているものの、北米のシェールガス等低価格エネルギー開発により発電機事業は停滞しており、当社受注も伸び悩みました。

これらの結果、売上高は2,277百万円、セグメント利益は83百万円となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、売上高が堅調に推移するなかで、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の合理化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は236百万円、セグメント利益は25百万円となりました。

③情報処理事業

情報処理事業につきましては、営業活動を強化し、新規受注獲得に努めました。

これらの結果、売上高は14百万円、セグメント損失は12百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比較して37百万円増加し8,308百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が232百万円、機械装置及び運搬具が77百万円減少したものの、現金及び預金が379百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して40百万円増加し3,152百万円となりました。これは主に1年以内償還予定社債が50百万円、未払法人税等が57百万円、未払金が29百万円減少したものの、短期借入金が120百万円、長期借入金が58百万円増加したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して3百万円減少し、5,155百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末と比較し379百万円増加し2,131百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は393百万円（前年同四半期は170百万円）となりました。これは主に仕入債務が49百万円減少、法人税等の支払額が110百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が109百万円、売上債権が232百万円減少、減価償却費229百万円などを計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は72百万円（前年同四半期は183百万円）となりました。これは主に有形固定資産の取得に61百万円、無形固定資産の取得に28百万円の支払いを行ったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は58百万円（前年同四半期は226百万円使用）となりました。これは主に長期借入金の返済171百万円、社債の償還139百万円があったものの、短期借入金による収入100百万円、長期借入による収

入250百万円を行ったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月12日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3,896千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,761,518	2,141,512
受取手形及び売掛金	1,958,599	1,725,641
製品	11,477	11,506
仕掛品	40,508	26,522
原材料及び貯蔵品	93,759	99,119
繰延税金資産	23,456	17,933
その他	183,063	152,875
貸倒引当金	△519	△341
流動資産合計	4,071,864	4,174,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	847,811	820,011
機械装置及び運搬具（純額）	674,085	597,068
土地	1,838,851	1,838,851
リース資産（純額）	96,951	134,327
建設仮勘定	51,446	16,550
その他（純額）	88,013	121,870
有形固定資産合計	3,597,159	3,528,680
無形固定資産	192,374	195,891
投資その他の資産		
投資有価証券	153,408	156,588
繰延税金資産	135,548	131,869
その他	120,483	121,527
貸倒引当金	—	△1,246
投資その他の資産合計	409,440	408,738
固定資産合計	4,198,974	4,133,311
資産合計	8,270,838	8,308,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,489	350,207
短期借入金	347,504	468,314
1年内償還予定の社債	278,000	228,000
未払金	248,155	218,383
未払費用	241,251	241,013
未払法人税等	119,577	62,326
賞与引当金	30,127	24,408
その他	159,875	178,921
流動負債合計	1,823,980	1,771,574
固定負債		
社債	379,000	390,000
長期借入金	445,004	503,187
退職給付引当金	319,208	322,694
その他	144,166	164,686
固定負債合計	1,287,379	1,380,568
負債合計	3,111,360	3,152,142
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,603,595	3,599,376
自己株式	△37,701	△37,714
株主資本合計	5,157,688	5,153,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,789	2,481
その他の包括利益累計額合計	1,789	2,481
純資産合計	5,159,478	5,155,938
負債純資産合計	8,270,838	8,308,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	2,988,318	2,528,585
売上原価	2,023,838	1,865,043
売上総利益	964,480	663,542
販売費及び一般管理費	577,300	559,926
営業利益	387,179	103,616
営業外収益		
受取利息	2,738	2,499
受取配当金	1,108	1,396
受取賃貸料	4,376	4,002
スクラップ収入	4,756	5,403
工場設置奨励金	3,831	—
その他	7,256	6,697
営業外収益合計	24,067	19,999
営業外費用		
支払利息	17,326	11,288
支払手数料	5,328	4,829
社債発行費	809	809
その他	1,016	1,937
営業外費用合計	24,480	18,864
経常利益	386,765	104,750
特別利益		
固定資産売却益	2,877	5,047
保険解約益	—	16,280
特別利益合計	2,877	21,328
特別損失		
固定資産除却損	4,065	4,188
リース解約損	2,242	—
割増退職金	—	12,154
特別損失合計	6,308	16,342
税金等調整前四半期純利益	383,335	109,736
法人税、住民税及び事業税	158,021	53,506
法人税等調整額	13,732	8,018
法人税等合計	171,753	61,524
少数株主損益調整前四半期純利益	211,581	48,211
少数株主利益	—	—
四半期純利益	211,581	48,211

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211,581	48,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,652	691
その他の包括利益合計	△18,652	691
四半期包括利益	192,928	48,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,928	48,902
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,335	109,736
減価償却費	219,715	229,216
退職給付引当金の増減額(△は減少)	11,648	3,486
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,761	△5,719
受取利息及び受取配当金	△3,846	△3,895
支払利息	17,326	11,288
保険解約損益(△は益)	—	△16,280
固定資産除却損	4,065	4,188
売上債権の増減額(△は増加)	△174,518	232,958
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,022	8,597
仕入債務の増減額(△は減少)	25,871	△49,282
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,298	△16
その他	3,041	△12,520
小計	456,557	511,755
利息及び配当金の受取額	3,846	3,895
利息の支払額	△15,379	△11,751
法人税等の支払額	△274,209	△110,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	170,815	393,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△155,769	△61,139
無形固定資産の取得による支出	△24,593	△28,975
投資有価証券の取得による支出	△1,268	△1,304
保険解約による収入	—	16,280
その他	△2,218	2,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,850	△72,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	100,000
長期借入れによる収入	244,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△148,880	△171,007
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△149,000	△139,000
リース債務の返済による支出	△20,465	△29,471
配当金の支払額	△52,068	△51,978
その他	△164	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△226,578	58,530
現金及び現金同等物に係る換算差額	△908	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△240,521	379,994
現金及び現金同等物の期首残高	2,578,078	1,751,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,337,557	2,131,512

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	情報処理事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,720,992	233,853	33,472	2,988,318	—	2,988,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	144,058	81,679	225,737	△225,737	—
計	2,720,992	377,912	115,151	3,214,056	△225,737	2,988,318
セグメント利益	370,246	27,219	14,208	411,674	△24,495	387,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,495千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	情報処理事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,277,323	236,410	14,852	2,528,585	—	2,528,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	138,775	26,842	165,617	△165,617	—
計	2,277,323	375,185	41,694	2,694,202	△165,617	2,528,585
セグメント利益又は損失(△)	83,683	25,095	△12,507	96,271	7,344	103,616

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7,344千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成25年1月31日に、当社の連結子会社である株式会社オーネックスエンジニアリングは解散いたしました。

1. 解散の理由

株式会社オーネックスエンジニアリングは、情報処理事業を行ってきましたが、主要取引先との取引縮小により、将来的に事業継続が困難であると判断したため、同社を解散及び清算するものであります。

2. 当該連結子会社の概要

- | | |
|-----------|--------------------|
| (1) 商号 | 株式会社オーネックスエンジニアリング |
| (2) 本店所在地 | 神奈川県厚木市上依知3012-3 |
| (3) 代表者 | 大屋 和雄 |
| (4) 事業内容 | 情報処理事業 |
| (5) 設立年月 | 昭和53年6月 |
| (6) 資本金 | 30百万円 |
| (7) 決算日 | 6月30日 |
| (8) 株主 | 株式会社オーネックス 100% |

3. 解散の日程

平成25年1月31日 解散日及び清算開始

平成25年4月 清算終了(予定)

4. 当該解散による損益への影響

当該解散及び清算に伴う損益への影響は現在算定中であります。

5. 当該解散による営業活動等への影響

当該解散及び清算に伴う営業活動等への影響は軽微であります。